

# 双葉郡の学びアンケートの 集計結果です

双葉地区教育長会  
令和3年6～7月実施

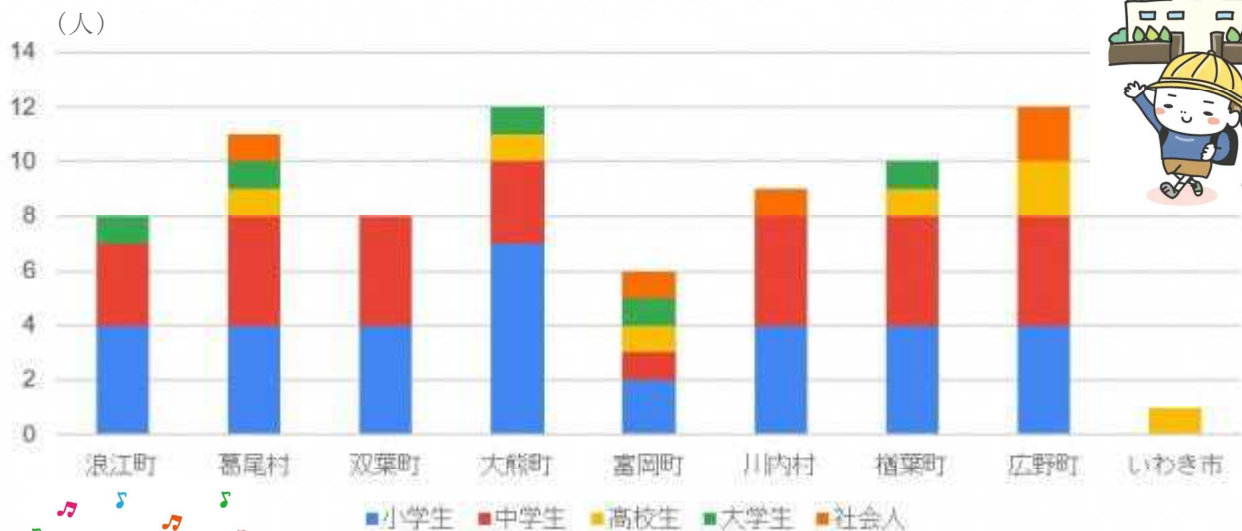
## 児童・生徒、卒業生のみなさん、 ご協力ありがとうございました

アンケートは、各町村の小中高等学校など、それぞれ4名程度のみなさんにご協力をお願いしました。また、みなさん以外にも、先生方、保護者、地域の方々にもご協力いただきました。

回答は、163名の方々（小中高卒業生77名、教育関係者61名、保護者・地域住民25名）から、ヒアリングも25名の先生方にご協力をいただきました。

ここでは、児童生徒、卒業生のみなさんの集計結果をお知らせいたします。紙面の関係ですべては掲載できませんでした。ご了解ください。みなさんのご意見は、今後の双葉郡の交流に生かしていきたいと思っております。ありがとうございました。

### ○ 回答して下さった小・中・高校、卒業生の町村別内訳（77名）



# 1 「ふるさと創造学」であなたが身につけたこと、勉強になることは？

ふるさとについて知ることができた。いろいろなことに興味を持てるようになった。**考える力**が身についた。学んだことを深めることができるようになった (中学生)

大熊町の良いところを改めて感じたり、これからの**大熊町をどうしていきたいのかも**考えられた (小学生)

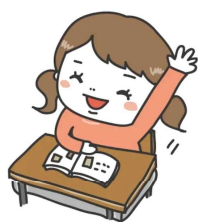
**問いを立てる力**。自分の意見や疑問や仮説を考えて検証することの繰り返しが、問いを建てる力につながった。それが、ただ調べるだけの学習との違いだと思う (大学生)

地域の現状や住む人の思いなどを伝える力が身についた。また、2年前に広野町に移住してから、双葉郡という存在が環境面などいかに重要かを知ることができ、**マイナスからプラスの印象へ**と変わった (高校生)

私が在学していた頃は、「ふるさと創造学」ができる前でした。しかし、子ども自らが動き、先生と対話していくような授業をしたいと思いながら生活していました。同じ目線で話し、意見を交換することで、先生方の思う決まった答えに当てはまらない**議論の中に多くの学び**がありました (社会人)



自分の町の現状を知って、疑問に思うことをしらべて、**改善していく**ためを考えること (小学生)



川内村にあるいろいろなものについて、それに関わっている人たちの**思いや考え**を知ることが、とてもいいことだと思う (中学生)

自分が気になる分野に対して、追求し続けることで、**新たな発見**が見つかること。故郷の可視化された問題や見えない問題について提示することができるようになること (大学生)

- ・町の人の生の声を聞ける、**本当の思い**を知ることができること
- ・震災前の町についての記憶が無いに等しく、それが知れること (高校生)



双葉郡の現状を知り、東日本大震災について学びを深めることができ、とても勉強になりました。休校にならざるを得なかった**双葉郡5つの高校の思い**がたくされたふたば未来学園に通っていたからこそ、東日本大震災を自分事として考えなければと思っていました (社会人)

## 2 「ふるさと創造学サミット」で学んだことは？



私いろんなところで頑張っている学校があると思うと**自分も頑張らなくちや**と思いました（小学生）

他の学校がどんなことに着目して学習しているのかが分かった。他の学校の意見を聞き、**視野が広がった**  
（中学生）

大学生ボランティアで参加しました。子どもたちは、大人が思っている以上に考え、感じているので、**柔軟な発想**を邪魔しない表現を使いながら、具体的な方法や問題についても話し合いたいと思いました（社会人）



**話す力と対応力**です。自分が発表した後の質疑応答で、どれだけわかりやすく相手に伝えられるかが大切。事前に準備しても、いろいろな質問がくるのでとっさの対応力が必要です。回を重ねるごとに鍛えられました（高校生）

他町村の発表を見て、新たな発見があったことはもちろんだが、学習してきたことを大勢の前で発表することで、他の人にも**町の素晴らしさや復興に携わる方々の活躍**を知ってもらえたことが嬉しかった（大学生）

## 3 「絆づくり運動会」「中高生交流会」で学んだことは？



林真理子さんの話を聞き、手紙を書いて、今はだいたいメールで済ませますが**手紙で書くこともいいな**と思いました（中学生）

積極的に交流し、双葉郡内の結束を深めたり、**自分自身の積極性**を高めることができた（中学生）

バーチャル配信について学び、発信の仕方はとても多いことを知った。その当時、**情報発信**と言ったらSNSくらいだと思っていたから（高校生）

みんなとコミュニケーションをとって話ができ楽しかったです。また**自分から**話せる回数も増えてよかったです（小学生）



やりたいことは**全力でやる**ということ。その道の一流の人に会うと、分野は違えど自分の領域に関する熱量が常人とは違うことが分かった（大学生）



## 4 中・高の「ふたば生徒会連合」を通して学んだことは？

人と協力してひとつのものを作り上げようとする力。サミットがスムーズに進行するように連携したり、生徒会企画を自分の学校だけで無く、他校の生徒会メンバーと話し合っ準備して成功させたりした経験があったから（高校生）

話す力。最初は何もしたくなかったけど、最近は何でもやってみたいと思えるようになってきた（中学生）

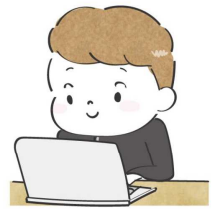
ビデオ会議は楽しく交流ができた。各学校の取り組みが分かって参考になった。場数を踏んで自信がついて話せるようになった（中学生）

テレビ会議などで、たまにとてもコミュニケーション能力が高い生徒さんがいるので、コミュニケーション力を高めたいと思った（中学生）



協働することの大切さ。遠隔ミーティングなどをやることは大変でも、一つの行事を一緒に運営し、成功させたときには達成感がある（大学生）

## 5「こうすればもっとよくなるのでは」と思うことは？



自分の町のことを紹介して、みんなに楽しく知ってもらいたいです。みんなと話す時間を増やす（小学生）

生徒会連合主催の企画は続けてほしいです。企画、準備、運営は大変だけど、無事に成功して終わったときには、達成感や充実感はずごいと思うし、生徒会連合でない生徒たちも、個の企画のお陰で他校の子と打ち解けられる大切な時間なので、続けてほしいと思います（高校生）

他の学校の人と話をする機会があると楽しめると思います（中学生）

先生方の意見の反映をもう少し抑え、必ずしも答えの出るものにしないで良いのではないかと思います。発表や成果の披露に着眼点が年々移ってしまっている印象を持ちました。綺麗な形にならなくてもいい、一見形をなしていないものでも、子どもたちの議論の後などが見ることができればそれは立派な発表になると思います（社会人）

「ふるさと創造学サミット」に関して、他校の発表は、結果だけで、そこに至るまでの過程は100%知ることはできない。だから、中間報告的に交流できたらより深い学び合いの場ができるのではないかと思います。「サミット」というゴールの先でも、何かしらの活動を続けることで、年間を通した学習ができればよかったと思う（大学生）

## 6 私たちが、これから勉強していかなければならないことは？

自分の町だけでなく、大熊町以外のところで何ができるのか、そして東日本大震災で他の所はどんな被害を受けたのか知りたいです。そのことを知って**自分に何ができるか**考えたいです（小学生）

復興や原発、町のこれからについて。まだまだ**知らないことがたくさんある**ので勉強していきたいです（中学生）

東日本大震災が起きた日、**何が起きたか。そして、そこからどのようにして現在の姿へと立ち直っていったのか**を勉強すべきだと思います（大学生）

震災の教訓をどう生かすか、**自分自身には何ができるか**。各個人が、自分事として考えていくべきだと思います（高校生）

東日本大震災と原発事故を風化させず、**自分事として考えられるような勉強**を取り入れてほしいと思います（社会人）

## 7 私の通う学校自慢をします！

先生と生徒の距離が近い。生徒一人一人が**思いやり**の心を持っている。学習は楽しく、生徒の興味をそそる内容だ。先生方は、生徒のことをかなり考えてくれている。地域密着型で地域の人との交流が多い。自分の得意分野を学校側は十分に理解し、それを伸ばしてくれる。生徒のやりたいを優先してくれる（中学生）



**勉強がわかりやすい**し、覚えやすい。校舎がきれい。校庭が広い。人数が少ないからいろいろな思い出や経験ができるから楽しい。みんな遊んでくれる（小学生）

少人数のクラスではあったが、クラスメイトはもちろん先生も含めて一体となっていたという印象が、卒業して4年経つ今でも鮮明に残っている。それぞれが、普通の勉強以外での課題を持ち、それぞれの経験を積んできたからこそ生み出された絆だったと言えるし、同じ故郷を持つ者どうして生活することは、**心の栄養**になった。小規模というのもあるだろうが、学校に通う全員の心の距離が非常に近かったのは、楽しい3年間を形成する大きな要因だったと思う（大学生）

自分の興味あることについて学び、アクションを行える**探求活動**があること。海外研修や国内研修の機会がたくさんあること。総合学科だからこそ幅広い人と仲良くできること。先生がフレンドリーなこと。ICT環境が整っていること。シアター、カフェ、ラボがあり、大学生と関わる機会があること（高校生）

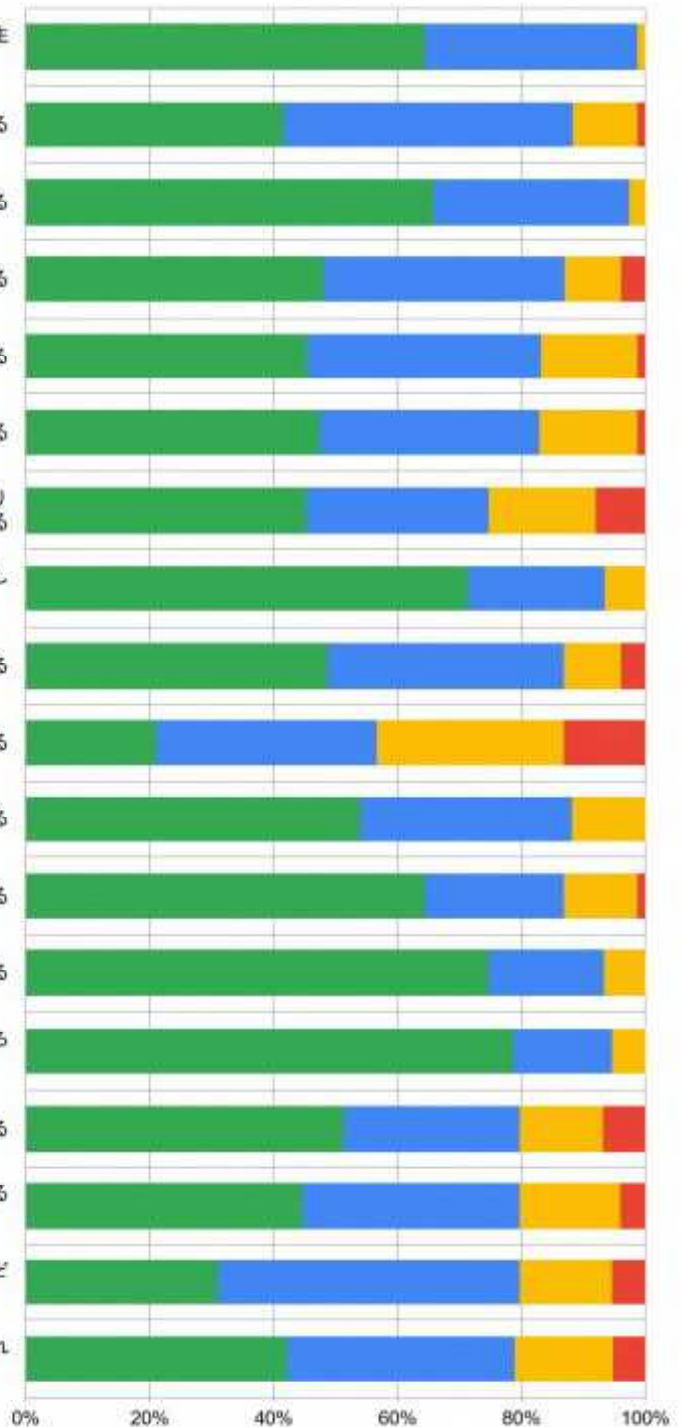
ふたば未来学園は、設備やカリキュラムが整えられていて、素晴らしい環境で3年間勉強してきました。特に、与えられたことを自分たちで**自由に考える**ことができ、自主性を推進してくれるので、いい意味で自由に学習できたことは、よても良かったです（社会人）

# ○ 私たち自身、私たちの学校、町村、ビジョン等の取り組みについて

■ A : よくあてはまる、そう思う ■ B : 少しあてはまる ■ C : あまりあてはまらない ■ D : あてはまらない、努力したい



1. 私の町村は（少人数ながら）活気がある。子どもたちも大人も、みんな生き生きとして元気がある
2. 私は、元気な挨拶・言葉遣い・マナーができている
3. 私の町村の子どもや大人は、思いやりがある
4. 私は、夢や目標を持って、進んで学習や生活に取り組んでいる
5. 私は、ふるさとへの誇りを持ち、文化や伝統を大切にしている
6. 私は、地域の復興、課題についてよく学んでいる
7. 私は、自分なりの課題をもって、「ふるさと創造学」などの学習に取り組み、その問題の解決方法を考えたり、学んだことを発表したりしている
8. 学校は、私たちの考えや意見を大切に、進んで学習することを勧めたり、その機会をつくってくれたりしている
9. 私たちの学校と地域の交流は、盛んに行われ、学習に生かされている
10. 日々の生活や学習でも、郡内小中高との交流が行われている
11. 私たちの小学校（中・高校）は、地域を元気にする力になっている
12. 地域の人も、私たちの学習を支え、励ましてくださっている
13. 私たちの学校の施設設備、ICTなどの環境は、よく整備されている
14. 私たちの学校では、ALTやカウンセラー、ICTを始めとするいろいろな支援員の先生方が、私たちの勉強や生活を支えてくれる
15. 教育復興ビジョンの取り組みは、双葉郡の一体感をつくっている
16. 教育復興ビジョンの取り組みは、双葉郡の復興や地域づくりを考える勉強の機会、また、新たな友達をつくる交流の機会になっている
17. 教育復興ビジョンが地域に配付している「ふたばの教育」やHPなどの広報は、双葉郡の取り組みを理解するのに役立っている
18. 私は、福島県や双葉郡、自分の町村の持つ課題（困っていると思われること）を理解し、自分なりに、その解決に努めていると思う



多くの項目で「よくあてはまる」「少しあてはまる」の評価を得ています。みなさんの頑張りが表れているのだと思います。素晴らしいことです。双葉郡として取り組みたいこと、自分の学校として取り組みたいこと、そして、自分自身が取り組みたいこと…。目標をもって取り組んでいきたいですね。



## 先生方・教育関係者、保護者、地域の方々の声



「みなさんが生き生きと勉強し、生活しているのを嬉しく思います。自分の学校や地域の持つ「よさ」をよく知っているのが分かります。また、それをもっと見つけ出そうとしています。素晴らしいことです」

（教育関係者Aさん）

「生徒会連合について。子どもたちには、伝えようとする力、聞く力、意欲、姿勢が生まれてきていると感じます。以前とは違っていています。校内の様々な場面で、それを見ることが出来ます」（B校長先生）

「自分が住む町村や双葉郡の課題を見つけ、よりよいものを求めて、その解決のために自分ができることを考え、行動しているのも素晴らしい。思考力や判断力も身につけていると思う」（保護者Cさん）

「素直さと一生懸命さ。友達と仲良く、相手を思いやり生活している。また、目標や課題を持って勉強しているのも素晴らしいことです」（D先生）

「小中学校・高校を卒業しても、故郷や後輩を思いやり、このようなアンケートを通して励ましを寄せてくれたり、イベント等を手伝ってくれたりするのは素晴らしいこと。さすがです、ありがとう」（教育関係者Eさん）

「自分の学校の友達だけでなく、地域の方々や双葉郡の他校の友達と交流して、世界を広げようとしています。また、様々なことにチャレンジする姿勢は、とても素晴らしいことです」（F先生）

「東日本大震災とその後の原発事故で経験したこと、その後の生活で経験した様々なことを力にして、地域のことや自分の生き方を考えているのは、とても立派です。」（G先生）

「一生懸命努力する子どもたち。その子どもたちに力をつけようと、努力する先生方もまた、素晴らしい」（H校長先生）





「“ふたば生徒会連合”（双葉郡内の中学校と高校で組織）は、その組織力を生かして、進んで募金活動に取り組んだり、いろいろな企画をしたり、力を合わせて大きな動きを作っています。素晴らしいことです」  
（I先生）

「“ふるさと創造学”の学習では、みなさんの町村の置かれた現状を調べ、自分なりの課題を見つけ出し、その解決のために何ができるか取り組んでいます。立派なことです」（教育関係者Jさん）

「小規模な学校の皆さんは、一人一人がたくさんの役割を持って責任を果たしているのは立派。交流会で、他校生から大いに刺激を受け、社会性も育っている。ICT機器の積極的活用も素晴らしい」（保護者Kさん）

「“ふるさと創造学サミット”では、これまで学習してきたことをしっかりと発表するとともに、他校の発表にも真剣に耳を傾け、学ぼうとしています。その姿は、大変素晴らしいと思います」（L校長先生）

「みなさんの、学校を愛する気持ち、地域を愛する気持ち、そして友達を思い、先生方や家族を大切に敬う気持ちが、アンケートから、また、様々な発表や取り組みから伝わってきます。素晴らしいと思います」（保護者Mさん）

「双葉郡を離れても、みんなの幸せのために、自分なりの課題を持って勉強を続けている人がいます。素晴らしいことです。答えはなかなか見つからないかもしれませんが、焦らず、時間をかけて、取り組んでくんでほしいと思います。また、ここ双葉、福島を思い、戻ってきて働いている人もいます。みなさん、ありがとうございます」

（教育関係者Nさん）

